

【図画工作科の目標は…】

「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」ことです。

【4年生では、こんな力を育てます】

進んで表したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。	材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。	身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。
--	---	-------------------------------

口田小学校では特に…

- ①工作（木・紙・さまざまな材料など）、絵などバランスよく学習する内容を考えていきます。
- ②子どもたちが興味を持ち、つくりだす喜び・楽しさを味わえるような活動を計画していきます。
- ③自分や友だちのよさに気付くことができるように、子どもたち同士で作品を鑑賞し合う時間を確保します。

【評価について】

★4年生の図画工作科では次のような観点で評価します。

- 美術作品への関心と表現の喜び：美術作品を鑑賞する体験から、表現された内容及び、その表現方法への関心をもつ。また自分でも、絵・彫刻・工作などを通しての自己表現を楽しみ、その喜びを味わおうとする。
- 表現：材料に直に触れることで、その感触や特性を学び、材料を生かして使う技能や表し方を工夫する。
- 表現：見たことや感じたことなどをもとに、自分の表現したいものを、豊かな発想に基づき構想を練り、材料・用具などの特徴を生かして表現しようとする。
- 鑑賞：身近にある美術作品や自分たちの作品などの鑑賞を通して、その良さや面白さを感じ取る。また感じたことや思ったことをまとめたり、話し合ったりして、いろいろな感じ方があることに気づく。

★次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。

- ・学習への意欲や関心
- ・作品
- ・授業中の態度・発言
- ・鑑賞カード
- ・構想、下がきなどのメモ
- など

月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	○自分の顔 ・4年生になった自分の顔をかく。 ○ねん土のひもから ・ねん土のひもを積み上げて想像した物を作る。	○自分の顔をよく見て描き、絵の具を混色して色をぬる。 ○粘土のひもを積み上げることから発想を広げて立体に表す。
5	○ゆめの世界のゆめの家 ・ペットボトルで立体に表す。 ○コロコロガーレ ・画用紙や、ダンボール紙を使ってビー玉転がしゲームを作る。	○ペットボトルの組み合わせ方や飾り方を工夫して、ゆめの家を立体に表す。 ○楽しいゲーム板になるよう、色や転がる道を工夫する。
6	○心にのこったそのことを ・心にのこった出来事を絵に表す。	○心にのこった出来事を、その時の気持ちが伝わるように工夫して絵に表す。
7	○光でうつし出す世界 ・O. H. P. やプロジェクタを使い、光の世界を表す。	○O. H. P. やプロジェクタを使い、物や人物をうつし出すことを楽しむ。
9	○みんなの運動会 ・運動会のポスターを作る。	○運動会へ向けて意欲を高めるようなポスターを作る。
10	○物語の世界 ・物語から想像したこと絵に表す。	○物語から想像したことを、表し方を工夫して表現する。
11	○ぺりりなマイボックス ・カッターナイフを使って、カラフルな飾りを作る。	○カラフルな色合いになるよう色の組み合わせを工夫して仕上げる。
12	○とび出すメッセージ ・自分の思いを楽しいカードや絵本にして伝える。	○飛び出す仕組みを使って、楽しいカードや絵本をつくる。
1 2	○ほってすって ・彫刻刀を使って、表現したいものを彫る。 ・彫ったものを刷る。 ○6年生ありがとう ・送る会や卒業式に備えて、壁面の飾りをする。	○彫刻刀を適切に使い、一彫り一彫りていねいに彫ることができる。 ○インクの量やローラーの使い方などを考えて、楽しく刷る。 ○6年生に対して感謝の気持ちを込めながら、作品をつくり仕上げる。
3	○いつもの場所が変身 ・好きな場所をいろいろな材料で変身させる。 ○作品整理 ・1年間の作品を整理する。	○いろいろな材料を使って、廊下や教室を作りかえる楽しさを味わう。 ○1年間の作品を鑑賞し、自分の成長を見つける。

【おうちの方へのお願い】

★作品をつくるにあたって、材料をご家庭で用意していただく場合もあります。事前にお知らせしますので、用意をよろしくお願いします。

★できあがった作品は教室に展示します。御来校の際には、是非ご覧ください。その後、ご家庭でも褒めるなどして声をかけることで、次への意欲につながるものと思います。